

第1章 原発の後始末もウソばかり

- 浜岡原発だけを止めればいいのか……………14
- 原発なしでも電力は足りる……………16
- 事故を想定した防災計画がない……………20
- 福島原発の処理は青森でするしかない……………25
- 「石棺」はやってはいけない……………29
- 高レベル放射性廃棄物は怖くない……………33
- 思想問題をコスト問題に……………36

第2章 原子力と国際社会とエコと核

- 原子力は50年間はストップする……………42
- 宇宙には原子力エネルギーしかない……………44
- アメリカの原子力と地球温暖化の関係……………48
- アメリカとフランスの現実論……………52
- 不明確な温暖化とCO₂の因果関係……………55

第3章 自然エネルギー幻想と石油のウソ

- 地球温暖化問題は政治問題……………59
- パチンコを止めても省エネにならない……………63
- 本当の省エネこそを考えよう……………68
- 原子力の技術に平和も軍事もない……………70
- 私と原子力の研究……………73
- 原子力利用には矛盾がある……………78
- 水力発電は自然を破壊する……………84
- バイオエネルギーは国が失敗を認めた……………89
- 太陽電池はドイツでも厳しい……………92
- 太陽電池が有用ならノーベル賞もの……………95
- 地熱発電で温泉が出なくなる……………98
- 石油は8000年大丈夫……………103
- 「石油の寿命」はビジネス上の数字……………107
- 石油頼みのシステムこそ問題……………110
- 資源確保に技術力を使う……………116

第4章 もう騙されない福島原発

- 原発は震度6で壊れた……………120
- 耐震指針に現れた「残余のリスク」……………122
- 責任逃れの体制ができあがった……………126
- 「原子炉だけを守る」という思想……………131
- 福島原発事故は「想定通り」に進んだ……………135
 - ・「設計値以上の力が加われば原発は壊れる」
 - ・「同じ条件で2つ壊れたら全部壊れる」
 - ・「水がなくなると水素が発生し、水素爆発が起こる」
 - ・「1号機から4号機まですべて同じように壊れる」
 - ・「建屋が吹き飛んで空に、格納容器が損傷して海に放射性物質が出た」
 - ・「汚染の順序も科学的合理性が保たれた」
- 政府は何の「想定」もしていなかった……………148
- 政府のついた数限らないウソ……………150
- 東電だけの責任か……………154

第5章 忘れられた地震予知の罪

- 「東海地震」だけがやってくるのか……………162
- 「巨大地震は連続してきた」……………167
- 「20世紀後半は静か」なのに……………169
- 結局、地震予知はできない？……………172
- 地震の「規則性」というまやかし……………175
- 「地震予知」利権と東大教授……………180
- 諸悪の根元「大震法」……………184

第6章 ウソとタテマエと巨大技術

- 原発と自衛隊はよく似ている……………190
- 再び原発を動かすための資格要件……………193
 - ・ 1 覚悟を決めて真正面から向き合う力
 - ・ 2 技術と思想をわけて考える力
 - ・ 3 科学的事実を認める力
 - ・ 4 学問と表現の自由を貫く力
- 原発事故の根底にある日本の問題……………212